研究テーマ：大容量の教育コンテンツ配信実験（1/2）

（プロジェクト番号　JGN2-A17016）

研究機関：　高知工業高等専門学校、広島大学・情報メディア教育研究センター

研究の概要：

　地域ネットワークの中国・四国インターネット協議会（CSI）などの学術系ネットワークと連携して、大容量の教育関係のコンテンツ配信実験を行う。

- e-Learning教育コンテンツの配信実験
- ビデオサーバによるビデオの配信実験
- IPv6ビデオサーバによるビデオの配信実験
- DVやHDVによる遠隔講演の実験
- DVやHDVによる遠隔会議の実験

実験の実施状況：

　広島大学と高知高専の間で、JGN2による大容量の教育コンテンツ配信実験の共同研究を昨年度より行っているが、広島大学で新しく開発された高品質動画像（ハイビジョン）伝送システムの実験に広島大学と高知高専の間で成功した。

　このシステムによる遠隔講義の公開実験を平成18年6月15日（木）午前９時40分から午前10時30分の50分間、高知高専の情報処理センター演習室で行った。

　高品質動画像（ハイビジョン）伝送システムによる遠隔講義は、全国の高専では初めてで、全国の高等教育機関においても先進的な事例となった。

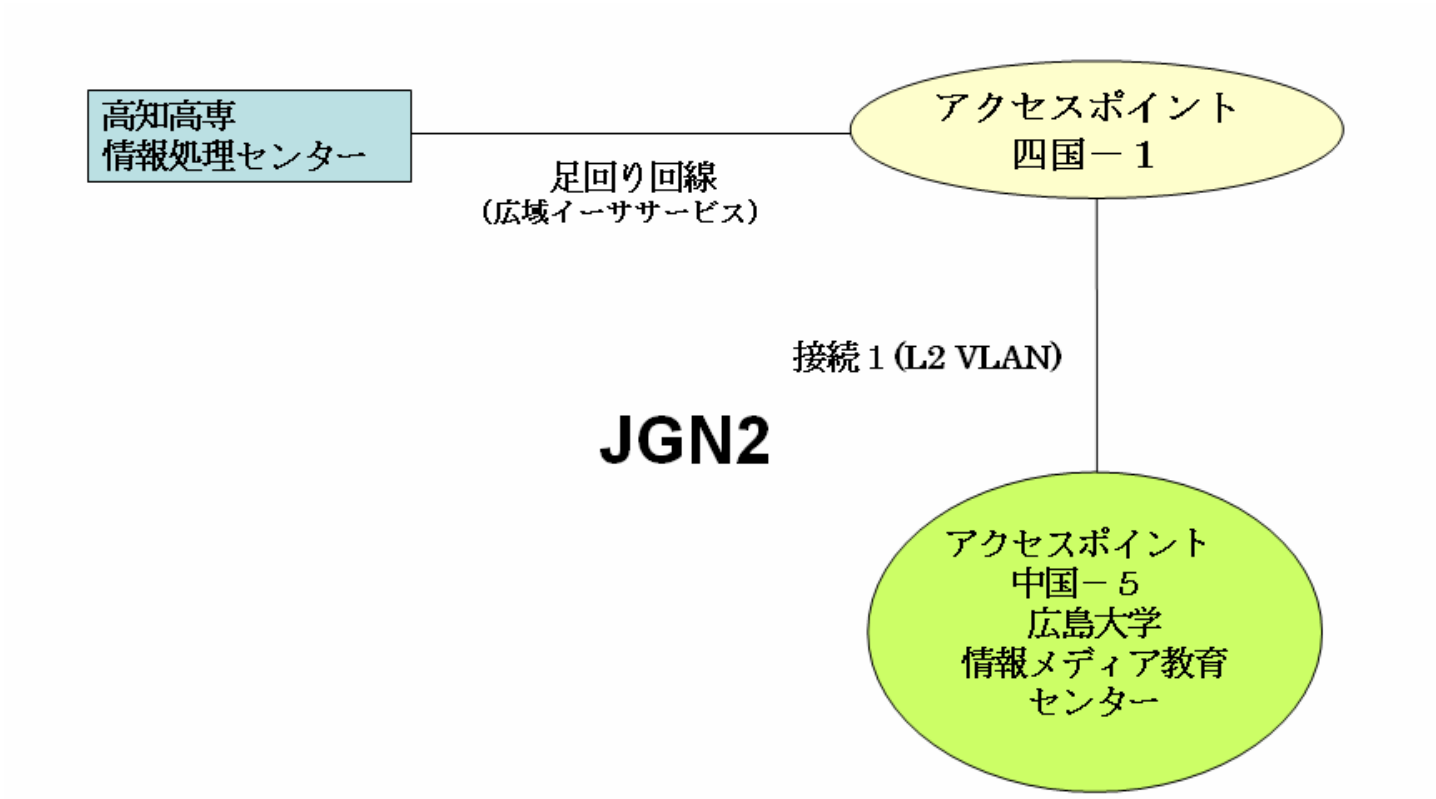
　また、今回の公開実験では、広島市立大学で開発された遠隔プレゼンテーションツールも用いることになっており、JGN2による「教育現場でのネットワークの活用」において重要な成果となる。（下の写真は、高知高専側の遠隔講義の様子）

研究テーマ:大容量の教育コンテンツ配信実験(2/2)

(プロジェクト番号 JGN2-A17016)

研究機関: 高知工業高等専門学校、広島大学・情報メディア教育研究センター

実験機器構成:



研究開発成果:

広島大学で開発された高品質動画像伝送システムを使ったハイビジョンによる遠隔講義実験に成功した。遠隔講義は、広島大学情報メディア教育研究センターより行われ、講義の場所は高知高専・情報処理センター・演習室であった。参加した学生は、高知高専・電気工学科5年生の39名で、大変臨場感のある講義が行われた。このようなハイビジョンによる遠隔講義は、大変教育的であることがわかったので、常時実施できるような体制について今後検討していきたいと考えている。

プロジェクトのアピールポイント:

広島大学で開発された高品質動画像伝送システムが実用に十分耐えられるものであることを検証することができたので、このシステムが広く普及することにより、様々な応用が考えられるので、社会的な効果は大きいと考えられる。

プロジェクトの自己評価:

全体的には大容量の教育コンテンツ配信実験を計画的に進めることができた。